



日乗連ニュース ALPA Japan NEWS

www.alpajapan.org

Date 2012.11.27

No. 36 - 17

発行：日本乗員組合連絡会議(ALPA Japan)

AGE 委員会

〒144-0043

東京都大田区羽田5-11-4

フェニックスビル

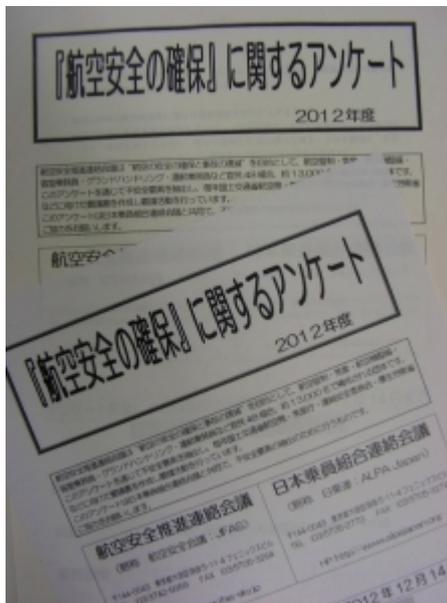
TEL.03-5705-2770

FAX.03-5705-3274

E-mail:office30@alpajapan.org

『航空安全の確保』に関するアンケート へご協力願います！！

1. このアンケート、ご存知ですか？



毎年11月から12月にかけて、日本乗員組合連絡会議（日乗連）と航空安全推進連絡会議（安全会議）が共同でアンケートを実施していますが、ご存知ですか？

「そんなのあったかな？」

「今年も提出したよ。」

「効果があるか分からないから、書いてもなあ・・・」

といったご意見が代表的なものでしょうか。

今年も皆様のメールボックスへ「『航空安全の確保』に関するアンケート 2012年度」が投函されているかと思っておりますので、是非ご確認願います。そして気づいたことは何でも結構ですので記入していただき、各乗員組合へ提出をよろしくお願い致します。とは言え、上記のようなご意見が多数あるのは承知して

おります。そこで今回は、皆様からいただいた声がどのように反映されているのかをご紹介しますことにしました。このニュースが皆様にとってアンケート記入の一助になれば幸いです。

2. アンケート回収後の流れ

アンケート回収後の流れについて、空港・空港施設を例にお話させていただきます。皆様から届いたアンケート結果については、継続課題となっているものと合わせ、皆様からの声として蓄積されます。そして、空港・空港施設について国土交通省航空局や東京・大阪航空局、その他空港管理者に要請すべき項目を年度毎に取りまとめ、「要請書」という形で伝えています。また、特に改善が望まれる項目がある場合などは、当該空港へ直接出向いて要請へ行くこともあります。過去には、実際に運航しているパイロットの生の声を理解していただくため、ALPA Japan AGE 委員会として地方空港へ訪問し、直接空港管理者の方々と意見交換を実施しています。

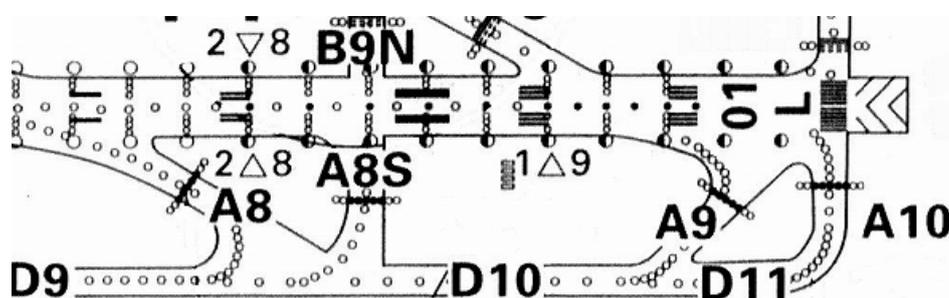


3. 例えばどんな成果があったの？

改善を要請しても予算が関連していることが非常に多く、皆様の声が反映されるまで時間がかかる現状は否めません。そのため、皆様がアンケートに書いた内容が反映されたと実感することは多くないかと思しますので、ここで一例を紹介致します。

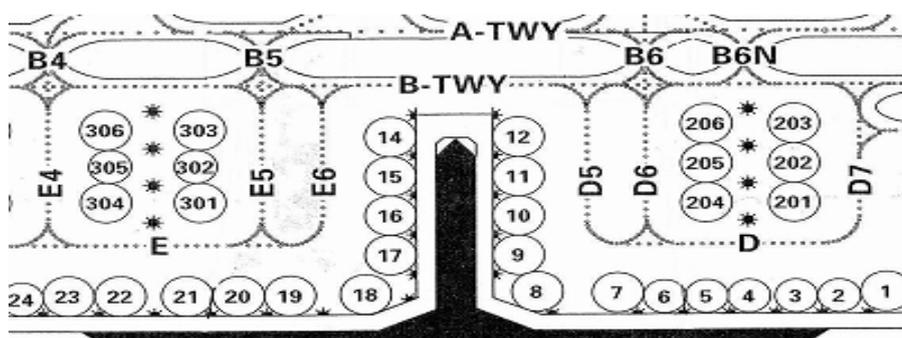
(1) 新千歳空港における誘導路中心線灯の設置

「RWY01L からの離陸時、A8S からのインターセクションを夜間に行う際、A8S に誘導路中心線灯が設置されていないため誘導路を見失うことがある」という声があり、要請を行いました。その後、航空局や新千歳空港管理事務所では A8S の使用頻度を一定期間調査し、実際に使用頻度が高いことを確認したうえで、誘導路中心線灯を設置するに至りました。



(2) 中部国際空港における誘導路名称の変更

エプロン内で用いられていた D6N や D6S、E5N といった名称はミスを引き起こしやすい名称で、実際に誤進入事例が多発していました。そのため具体的な誘導路名称案を示しながら名称変更を働きかけた結果、現在の誘導路名称へと変更に至りました。



4. 一言でもお願いします

以上のような流れで皆様の声が役に立っています。些細なことでも結構ですので、アンケートへの記入をお願いします。また、「airport@alpajapan.org」では常時、皆様の声を受け付けていますので、こちらもご利用下さい。

※アンケートには航空機整備や客室、気象など、運航全般の多岐に渡る項目が記されていますが、今回のニュースでは ALPA Japan (日乗連) AGE 委員会が担当する空港・空港施設に焦点を絞ってお話しさせていただきましたのでご了承下さい。